

事例 2

従来からある地域懇親会を活用した事例

子どもたちの安全を守るための活動を始めるにあたって、それぞれの立場で地域のために活動している組織の責任者の方に声をかけ、様々な立場の方から意見を伺うところからスタートした。その中で出された意見をもとに、それぞれの団体で取り組めるところから活動をスタートさせていった。

「子どもたちを守る地域の会」要綱例

〇〇っ子を守る地域の会 要綱(案)

〇〇小学校

1 趣旨・目的

様々な社会問題が生起し、子どもたちを取り巻く環境が厳しくなっている現在、学校・家庭・地域の三者が一体となって子どもを守り指導・助言していくことが求められている。

そこで、この三者の連携と協力の和を深め、広げていくため、〇〇っ子を守る地域の会を設置し、子どもを守るための情報交換を始め、保護者・地域住民の助言や協力を求めるとともに、学校からの情報も発信し安全な地域づくりに努めることを目的とする。

2 会の構成

本会は、次のメンバーをもって構成する。
各区防犯協会会長・少年友の会・主任児童委員・各区育成会長・各区地域子育てミニ集会代表・学校評議員・安全協会会長・PTA正副会長・PTA校外指導正副委員長・校長・教頭・教務主任・学校生徒指導担当係・学校安全担当者・各地区子ども会担当者
なお、会長はPTA会長、副会長にはPTA副会長(母親委員会担当)・校長を充てる。

3 オブザーバー(助言者)

必要に応じて〇〇警察署、各区長等にオブザーバーとしての参加をお願いする。

4 活動内容

- ・学区における子どもの安全対策への助言・協力など
- ・学校、家庭、地域の連携の進め方への助言など
- ・「あいさつ運動」「声かけ運動」等、具体的な活動を通した明るい地域づくり

5 会の開催

原則として、年2回開催する。
但し、メンバーの求めにより、必要に応じて臨時に開催することができる。

6 事務局

事務局は、〇〇小学校におく。
事務局長として、〇〇小学校教頭を充てる。

附則 この要綱は、平成〇〇年〇月〇日より施行する。